

2013年3月期通期連結決算報告(2012年4月1日～2013年3月31日)

- 年間業績としては前年比で市場の低迷を反映
- 引き続き厳しい市場環境だが、いくつかの地域で改善の兆しあり
- 収益改善施策は目標を上回るペースで進捗
- キャッシュフローが大きく改善
- 2014年3月期通期業績見通しはリストラクチャリング効果の更なる発現を含む

年間業績としては前年比で市場の低迷を反映

- グループ売上は5,213億円で、前年比6%減収(前年同期5,522億円)
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は90億円(前年同期149億円)。特に欧州の厳しい市場環境を反映
- 建築用ガラス事業は、売上2,157億円(前年同期2,394億円)、営業利益3億円(前年同期営業利益91億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上2,450億円(前年同期2,512億円)、営業利益48億円(前年同期営業利益51億円)
- 高機能ガラス事業は、売上594億円(前年同期602億円)、営業利益67億円(前年同期営業利益69億円)
- 個別開示項目は192億円のマイナス。リストラクチャリング費用(227億円)と有形固定資産等の減損損失(91億円)を含む

引き続き厳しい市場環境だが、いくつかの地域で改善の兆しあり

- 欧州の自動車用および建築用ガラスは引き続き厳しい市場環境
- 日本の建築用ガラス市場は徐々に回復、自動車用ガラス市場は安定的
- 北米市場では自動車用および建築用ガラスの国内市場が引き続き回復
- 高機能ガラス市場はおおむね堅調だが、グラスコードおよびプリンター部材の需要は軟化
- 持分法適用会社も厳しい建築用ガラス市場の影響を受ける

収益改善施策は目標を上回るペースで進捗

- 2013年3月期におけるリストラクチャリングによる効果は当初目標のおよそ2倍となる約100億円発現
- 一年を通して着実に収益改善
- リストラクチャリングの主要項目である生産能力の削減、間接費用削減、生産性改善は大きく進捗
- 人員の削減:2013年3月末までに3,000人を削減

キャッシュフローが大きく改善

- 運転資本と設備投資の管理に選択的資産売却を加えキャッシュフローを黒字化
- 昨年度末から今年度にかけてのリファイナンス及び追加的流動性確保のため資金及び資金枠確保を2013年3月28日に発表
- 明確な実行計画とこれによる財務状況および業績の改善
- 固定費圧縮により将来市場変動にも柔軟に対応できる強靱な企業体質を構築

2014年3月期通期業績見通しはリストラクチャリング効果の更なる発現を含む

- 2014年3月期業績見通しは、主にリストラクチャリングの効果により、前年度より改善
- 欧州市場は引き続き低水準で推移する見通し
- その他の市場においては市場の成長など改善を期待
- 引き続き収益力回復に注力

連結損益計算書



(億円)	13年3月期 通期	12年3月期 通期	前年比
売上高	5,213	5,522	-6%
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	90	149	
償却費*	(70)	(72)	
個別開示項目前営業利益	20	77	
個別開示項目	(192)	(33)	
営業利益(損失)	(172)	44	
金融費用(純額)	(141)	(143)	
持分法による投資利益	23	51	
税引前損失	(290)	(48)	
当期損失	(319)	(17)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(328)	(28)	
EBITDA	375	464	-19%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

厳しい市場環境が引き続き業績に影響

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告

2014年3月期通期業績予想



(億円)	2014年3月期 見通し	2013年3月期 実績
売上高	6,000	5,213
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	220	90
償却費*	(80)	(70)
個別開示項目前営業利益	140	20
個別開示項目	(110)	(192)
営業利益(損失)	30	(172)
金融費用(純額)	(200)	(141)
持分法による投資利益	20	23
税引前損失	(150)	(290)
当期損失	(200)	(319)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(210)	(328)

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

今期はリストラクチャリング施策の効果が増加

2013年5月16日 | 2013年3月期通期決算報告